

『非正規公務員の現在 — 深化する格差 』

政府が進める「働き方改革」が打ち出した時間外労働の上限を月100時間未満とすることは、特例とはいえ過労死ラインの80時間を超えるもので、納得できるものではありません。これでは「働かせ方改革」との声も聞こえます。また、同一労働同一賃金の実現や非正規雇用の処遇改善の動向も気になるところです。

今回の定例学習会では、国内に2000万人ともいわれる非正規雇用、とりわけ公務職場で増加を続け、基幹化している非正規公務員の諸課題を取り上げます。

講師の上林陽治氏は、いち早く非正規公務員に焦点を当て、非正規公務員が抱える諸問題を取り上げ、「官製ワーキングプア」の可視化、社会問題化を進めてこられました。非正規公務員を取り巻く深刻な格差・無権利状態を検証し、処遇改善への方途を明らかにして頂きます。

新年度の取り組みなど、ご多忙の折とは存じますが、是非ご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

と き 5月24日(水) 18時00分から

ところ ウェスタ川越 2階 活動室5

講師 上林 陽治 氏

((公財) 地方自治総合研究所 研究員)

※問い合わせは 090-3542-9870(高橋) 090-8859-9034(船橋)へお願いします。

